

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270301195		
法人名	株式会社アイリスケアサービス		
事業所名	くつろぎ保養館		
所在地 (電話番号)	〒031-0802 青森県八戸市小中野四丁目3 - 45 (電話) 0178-72-3111		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月14日	評価確定日	平成21年10月20日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 10月 13日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算 15人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	3 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,600 円	その他の経費(月額)	9,975 ~ 冬期15,225 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 630 円		

(4) 利用者の概要(8月 13日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	8 名	要介護2	3 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	80 歳	最低 61 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みちのく記念病院 八戸クリニック 歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>病院・スーパー・商店・公園等がある住宅地で、散歩や買い物、通院が徒歩で行ける恵まれた立地条件にある。その立地条件を活かし、外出や受診等について、職員はできる限り利用者・家族の希望に沿えるよう努めている。母体である協力病院が間近で、日常的な健康管理に加え、急変時の対応がすばやく行える為、利用者・家族にとって安心できる環境である。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「権利擁護に関する制度の理解と活用」について、管理者は研修に参加し、内部研修によって職員が学ぶ機会を持ったり、運営推進会議の議題として取り上げ、利用者・家族・関係者への情報提供を行っている。「職員を育てる取り組み」について、研修の年間計画は作成されていないが、外部・内部の研修予定を職員へ随時情報提供し、参加を促している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者・管理者・職員は、評価の意義・目的を理解して自己評価に取り組み、ホームが、利用者・家族・地域から何を求められているか確認する機会とした。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回開催され、利用者の生活状況や感染症対策等の取り組みについての報告を行ったり、地域情報の交換がなされている。また、出席者に質問や意見等を出してもらい、サービスの質の向上に努めている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>運営推進会議での意見や質問、電話や面会時にくみ取った不安等を会議や申し送り等で話し合い、サービスの質の向上へ反映させている。苦情については相談窓口があり処理体制が整えられ、明示されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の方々とは情報交換を行い、行事等に積極的に参加している。散歩や買い物時には気軽に声を掛け合う関係づくりがなされている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念として「自己決定」「継続性」「残存能力」の尊重を掲げているが、ホーム独自の理念が作り上げられていない。		「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」というグループホームの基本方針に沿った、事業所独自の理念をつくりあげることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はリビング・多目的室等に掲示され、職員は日常的に確認し日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	敬老会等の行事に積極的に参加したり、町内会に参加して地域の人々との交流に努めている。また、買い物や散歩の機会には気軽に声をかけ合ったり、近所の住人がホームを訪ねて来ることがある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員は評価の意義・目的を理解している。外部評価については職員会議等で話し合わせ、改善に取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、ホームでの暮らしぶりを報告したり、地域の行事等の情報を頂いたりしている。出席者からの意見等について話し合い、職員会議や朝礼等で全職員へ伝達している。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の疑問点や課題について、市町村担当者へ相談して、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は研修に参加し、職員へ資料を渡す等して伝達している。また、運営推進会議の議題として取り上げ周知に努めている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止が徹底できるよう勉強会を行い、全職員の理解を深めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は噛み砕いて説明したり、疑問点を尋ねる等丁寧な対応で理解・納得が図られるよう努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時や運営推進会議の案内配布時を利用して様子を伝えているほか、必要に応じて個々に合わせた報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情の相談窓口を明示したり、「ご意見箱」を設置するほか、面会時や電話時に問いかける等、家族等が思いを表出できるよう努め、意見、不満、苦情、を運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は馴染みの職員が支援することが重要であると考えており、利用者へのダメージを防げるよう異動を最小限に抑える努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の勉強会を開催し参加を促したり、外部の研修を紹介したり、資格取得を促している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修等を交流の機会とし、その後も情報交換等を行い、サービスの質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前の面談や家族のホーム見学を行い、利用者が希望するものを居室へ持ち込む等して、安心・納得した上でサービスを利用できるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の生活や仕事の話等を伺うことにより、利用者が人生経験豊かな敬うべき方々であることを認識し、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者と職員、利用者同士の会話から思いをくみ取れるよう注意を払っているほか、家族等から情報を得ている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日ごろのケアから本人の思いをくみ取り、家族等から思いや意見を伺い、全職員で意見交換して介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の定期的な見直しのほか、毎月のモニタリングや日ごろのケアから、状態の変化があったときにはその都度見直しを行い、現状に即した計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体である医療法人との連携が、健康管理や緊急時の対応に活かされている。また、通院・外出等、本人や家族の要望に臨機応変に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医のほか、本人・家族が望むかかりつけ医、認知症の専門医の受診を支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホームで「できること」「できないこと」をサービス利用開始時に本人・家族等へ伝えると共に、必要時に家族等やかかりつけ医等と話し合い方針の共有を図っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>誇りやプライバシーを損ねるような対応がなされないように、一人ひとりを敬う気持ちを大切にして努めている。禁句等、秘密保持について会議等で話し合い職員全員が周知している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者が話しやすい雰囲気作りをし、希望の表出に努め、それに沿って生活できるよう支援している。服装や散髪は利用者の希望を尊重している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は利用者の嗜好を考慮して作成され、お弁当箱に食事を詰めて提供する等変化をつける工夫をしている。一人ひとりの力に応じて、職員と一緒に調理や準備、後片付けが行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日と時間帯が決められているが、そのなかでタイミングや入浴方法は一人ひとりの希望に合わせているよう努めている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>花や野菜の栽培・書道・たたみ物等一人ひとりの生活歴や力に合わせて支援している。また、行事としての外出を計画し、気晴らしの支援を行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望や体調、天気に合わせて散歩や買い物等外出の支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修・職員会議等で共有化が図られ、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はプッシュ式自動ドアで日中は施錠していない。さりげない観察をし、利用者の安全を保っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の協力を得て火災訓練を行っている。また、運営推進会議で災害対策について報告したり、地域への協力を働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、看護職員の助言を得て作成され、食事・水分の摂取量は排泄やバイタルと共に記録され、一人ひとりの状態が把握されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染の時期や流行に合わせて法人内で勉強会や研修が行われ、全職員が予防や対策に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節感のある飾り付けがされ、生活の場面に合わせて音楽を流したり、カーテンで採光の調節をする等居心地よく過ごせるよう配慮されている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットは備え付けであるが、使い慣れた布団や小物等を持ち込み本人らしい居室を作りあげ、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮されている。		

 は、重点項目。